

空き家活用基盤構築業務委託料



予算額 4,800千円	都市建設部 都市計画課	予算書 P 138	新規・拡充
-------------	-------------	-----------	-------

空き家問題の根本的な解決を図るべく、誰もが利用可能なクラウド連携型データベースの整備により空き家の可視化を図り、空き家が積極的に活用される基盤を構築することで、地域の空き家減少に伴う市民の安全安心及び地域の活性化に寄与する。

【事業概要】

空き家の実態調査を行い、調査結果に基づいた空き家情報をデータベース化し、業務の効率化を図るとともに、地域住民や民間事業者等へデータベースを公表することで、民間主導の空き家利活用を促進する。

【背景】

空き家の増加と共に近隣住民からの空き家の苦情に関する相談は後を絶たず、問題が顕在化している。また地方移住への関心の高まりやテレワークの推進により、地方への人の流れが加速しているとともに、IC周辺の企業立地により、住宅の需要も高まっているが、空家等の既存ストック活用への需要に応えることができず、新たな仕組み構築が必要である。

【対象地域】

常総市内

【事業費内訳・財源】

内訳：システム運用1,117千円，データベース構築2,079千円，実態調査1,604千円

財源：デジタル田園都市国家構想推進交付金（内閣府：補助率1/2：2,400千円）

【事業期間】

令和5年度（令和6年度以降はランニングコストのみで実態調査は職員にて実施）